

建設水道常任委員会記録

令和7年4月11日（金）午前9時56分～午前10時38分（第4委員会室）

○出席委員（8名）

委員長	沢井 和宏
副委員長	石山 波恵
委員	三浦由美子
委員	斎藤 正臣
委員	小松 良行
委員	小野 京子
委員	尾形 武
委員	黒沢 仁

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

所管事務調査「都市計画と市街化調整区域に関する調査」

- 1 委員長報告のまとめについて
- 2 その他

午前9時56分 開 議

（沢井和宏委員長）ただいまから建設水道常任委員会を開会いたします。

初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

まず、前回開催いたしました委員会において皆様からいただいた行政視察に対する意見開陳内容について、資料に意見開陳内容（行政視察）というのがありますので、お聞きいただきたいと思います。

それでは、こちらの資料について黙読の時間をお取りしますので、発言内容等に補足があればご意見をいただきたいと思います。

それでは、2分ほど、ちょっと短いのですが、2分ほど黙読をお願いします。

【資料黙読】

(沢井和宏委員長) 黙読を終了いたします。

資料の中の発言内容等について補足などはございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) ありがとうございます。では、なければ、このような形でまとめさせていただきます。

次に、前回の委員会において皆様と協議をさせていただいた提言項目の方向性を基に正副委員長手元で委員長報告の骨子をまとめましたので、資料の委員長報告の骨子をご覧ください。

まず、1ページ目、1番の調査の概要ですが、(1)、調査目的は調査テーマを決定した際に確認したとおりの内容となります。

(2)の調査の経過は、本日時点の調査回数と、以下これまで実施した調査内容となります。

2ページ目をお開きください。2番は、本市における都市計画区域及び区域区分についての説明があります。

3番は、市街化調整区域での開発行為の根拠となる立地基準についての説明と、それから本市の許可事例などについて掲載してあります。

3ページをお開きください。4番、本市の現状と課題については、現状として、当局説明を受けた中から①、都市計画、②、市街化調整区域の地区計画制度について、③、開発審査会についての3つをピックアップしております。

4ページ目をお開きください。課題では、当局から説明のあった課題などを記載しております。

5番、これまでの取組と今後の方針については、①、コンパクト・プラス・ネットワークについてと②、立地適正化計画による誘導施策を記載しております。

5ページ目をお開きいただきまして、6番は提言項目になります。提言項目は5点としておりまして、(1)、地域拠点の明確化について、7ページには(2)、地区住民参加による地区計画の積極的活用、8ページに(3)、市提案型による商工業系機能の誘致を可能とする土地開発、9ページ、(4)、地区計画制度や開発許可基準の柔軟な運用、10ページ、(5)、市の着実な発展を目指す土地利用の5点であります。

なお、前回の委員会では6点の提言項目にする方向でご協議いただきましたが、そのうち1つ、市と民間事業者との連携による地区計画については、意見開陳の内容などを改めて整理し、民間事業者との関わり方といった点では8ページ目の(3)の市提案型による商工業系機能の誘致を可能とする土地開発や9ページ目の(4)の地区計画制度や開発許可基準の柔軟な運用の中にまとめてあることから、5点の提言項目としております。

それぞれの提言内容とその背景については記載のとおりであります。

以上が骨子の概要となりますが、こちらを基にこれからご協議いただきたいと思います。

なお、委員の皆様には議論を深めていただくため、ここからは自由協議の形式で意見交換を行いたい

と思います。簡単な説明のみでしたので、自由協議の中で黙読の時間も取りたいと思います。発言許可は不要ですので、自由にご発言いただき、骨子を確定させていただきたいと思います。

それでは、録音を停止してください。

【この間自由協議】

(沢井和宏委員長) 自由協議を終結いたします。録音を再開してください。

ご意見ありがとうございました。

それでは、ただいまご協議いただきました内容を反映した骨子を基に委員長報告の素案を作成し、次回の委員会でご確認いただきたいと思います。

正副委員長からは以上であります。皆さんから何かご意見はございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(沢井和宏委員長) なければ、以上で建設水道常任委員会を閉会いたします。

午前10時38分 散 会

建設水道常任委員長

沢 井 和 宏